

たくさんのご寄附 ありがとうございます! 2025年 | 1月 |

市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからも魅力ある旭川のまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。※寄贈は相当額。

市への寄附の詳細はこちら



(株)アイ工務店 様

代表取締役社長 坂井達也 様 (左から2番目)、
取締役 斎藤隆輔 様 (右)、北海道支社長 常長雅人 様 (左)
30,000,000 円 (企業版ふるさと納税)



野崎教育長

ピリカ動物病院 様

176,000円 (市立小学校全学級分犬猫カレンダー800部)



野崎教育長

旭川ナナカマドライオンズクラブ 様

300,000円 (中央図書館に児童図書98冊)



旭川ガスグループ 様

509,520円 (あさひやま“もっと夢”基金)

ASAHIKAWA 100 PRIDE vol.17

(株)キョクイチホールディングス

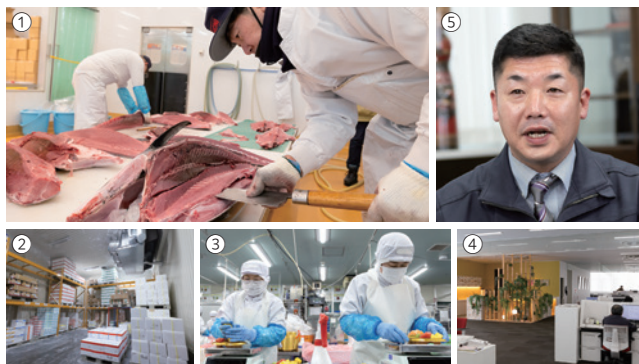
地域に不可欠。76年、挑み続ける市場

食の安定供給に全力! 「客安信挑」を掲げる「旭川の台所」

北海道のほぼ中心にあり、道内・国内各地から新鮮で豊富な食材が集まる旭川。私たちの毎日の暮らしに欠かせない「食」を支えるのは、(株)キョクイチ(流通団地1の2)などの市場の存在です。昭和24年に旭一旭川魚菜市场(株)として創業した同社は、事業拡大に伴い平成29年に(株)キョクイチホールディングスを設立し、今や9つのグループ企業が全国規模で展開中。スーパーなどに卸売りをする市場として「縁の下の力持ち」的な役割を果たしています。

(株)キョクイチホールディングスの加藤さんは「弊社が掲げる『客安信挑』は、『お客様』『安心・安全』『信頼』『挑戦』など、市場として大切にしている思いを表しています。特にお客様の『一口の感動』のために挑戦を怠らず、今では魚・青果の卸売りだけでなく水産物の加工や冬まつりにも使う氷製造、カットフルーツ製造、そして物流の一部まで自前で手掛けています。魚ではマグロの取扱量が道内有数で、市内や道北、道東に出荷しています。カットフルーツは比較的新しい事業で、全国展開するスーパーや大手コンビニに出荷しています」と教えてくれました。最後に、今後の展望を聞くと「食のライフライン企業になることを目指しています。胆振東

部地震のブラックアウトを経験し、食料備蓄基地にもなるマイナス60度の冷凍庫を設置しました。安心安全な食の供給を安定的に続けていくのが、弊社の使命です」と力強く語ってくれました。



①生鮮クロマグロの取扱量は年間約2,000本 ②マイナス60度の超低温冷凍庫 ③清潔な工場内では、フルーツのカットから盛り合わせまでスピーディーに行われます ④オフィスにはカフェコーナーもあり、コミュニケーションを重視する社風です ⑤(株)キョクイチホールディングス 管理部施設管理課課長 加藤宏顕さん

ASAHIKAWA 100 PRIDE とは?

市制が施行されてから100年超の歴史を持つ旭川市。大正から令和にかけて様々な産業が発展する中で、「全国・世界に誇る旭川発!」をご紹介します。



旭川の「おいしい」を支える仕事はこちら!

